

Time Spent with Furniture

暮らしに寄り添う家具と住まい

美しく居心地の良い住まいに欠かせない家具。家具選びは住まいのインテリアを考えるうえで、大切な作業の一つといえる。その際には、見た目の美しさはもちろん、その家具を誰とどのように使いたいかをイメージすると良い。ここでは、住み手らしい家具を取り入れた4軒の住まいを紹介する。

Photographs : Nacása & Partners

右/東京・目黒の住まい。1階に設けた書斎の一角には、Philippe Starckが手掛けたイタリア・Cassinaの「241 PRIVE」と、スイス・USMハラーのキャビネットを配した
左/自然素材を取り入れたいというオーナーの要望に応え、リビング&ダイニング(CH2800mm)の壁と天井はナラ材の羽目板貼りに。下部には雪見窓のような細長い窓を設けた。壁には夫妻が選んだアートが飾られ、インテリアに彩りを添える。以上「C邸」(12頁に掲載)

口の先にアウトドアリビングのあるテラスが見えるリビング
(H2800mm)。テレビまわりの機器や空調など。インテリアの
しさを損なうものは造作壁面収納の中に収めた。左手の暖炉
脇には、以前の住まいで使用していたStarckのオットマンの
クッションのみを載せ、ベンチスペースをつくった

Time Spent with Furniture

C Residence
Meguro-ku, Tokyo

Architecture Riccardo Trossani Architecture
Photographs Nacasa & Partners
Text Tomoko Yabu

多彩な家具と建築、自然が調和した空間



大人数が座れるよう、大判の天板にCassinaの脚部を組み合わせて八人掛けのテーブルを造作したダイニング。イスはStarckの「246 PASSION PRO」や「245 CAPRICE」などをセレクト。書斎の壁一面に配したUSMハラーのキャビネットは、オーナーの本でアートのように空間を彩る存在に

東京・目黒の住宅街の一角。路地の先にある門扉を開くと、地上3階建てのモダンな建物と木々の緑が織り成す心地良い空間が広がっていた。

モダンなデザインと自然素材の融合

仕事で世界各国を巡ることが多く、海外にも拠点をもつオーナーは、結婚を機にマンションから戸建てへの住み替えを検討。妻が以前から住んでおり、周囲の環境を気に入っていたことからこの街で敷地を購入し、8年前に家づくりをスタートした。オーナーが希望したのは、ミニマルモダンなデザインでありながら、天然素材を取り入れた自然を感じる住まい。設計は、仕事で長い付き合いのあった建築家のリカルド・トッサーニが

望む空間に近く、引かれたことが決め手となったという。

敷地は北、西、南の三方に建物が隣接していたため、まず敷地の西側から南側にかけてL字型に建物を配置。前面道路のある東側にアプローチと庭を配した。

夫妻は友人を招く機会が多いため、エンタランスからアクセスの良い1階にリビング&ダイニングとキッチン、オーナーの書斎を設計。2階はゲストルーム、3階は主寝室と、階が上がるにつれてプライベート性が高まるプランとした。

家族やゲストと集う1階は、暮らしのメインとなる場。特に、庭に面したリビングの東側と北側に大きな開口を設けることで、自然光が降り注ぐ開放的な空間。リビングの天井と外部の軒を同じ高

を使用して屋内外に一体感を演出した。また、建物の竣工当初、モミジが一本だけだった庭は、もっと屋外で過ごす時間を楽しみたいと、リビング北側にパーゴラのあるテラスを造設。一層、自然を身近に感じられる住まいとなっている。

タイムレスな美と機能をもつ家具を選択

C邸をより上質なものにして

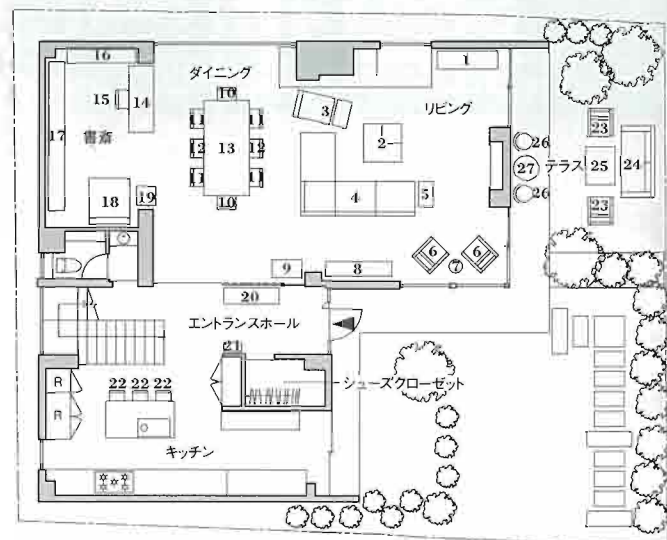
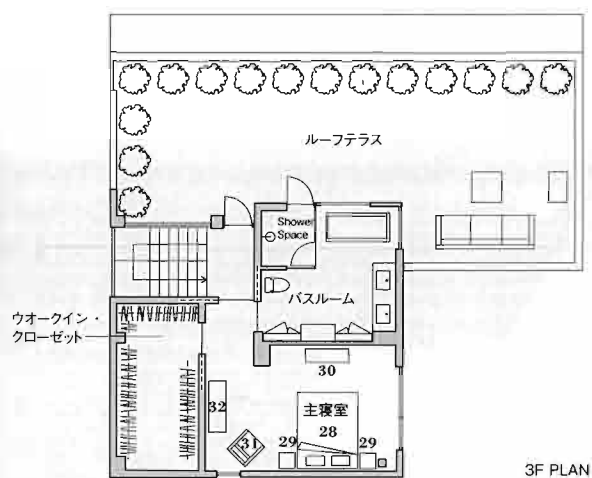
の、随所に配された家具の存在。ソファなどの大きな家具はリカルドさんの妻で、インテリアデザイナーのトッサーニ糸田敦子さんが、そのほかの家具はオーナーがセレクト。カッシーナやB&Bイタリヤなどイタリヤを中心に、多様な年代やデザイナーによる家具が混在して、まるで一つの統一感があり、シンプルながら

良く調和している。これはオーナーとリカルドさんが「良い家具は機能的な芸術作品」と考え、機能性と美しさを併せもつデザインの家具を選んでいくから。「かつては見栄えが良い家具を選びがちだったが、多くの失敗を重ねて審美眼を鍛えてきた」とオーナー。こうした家具にアートが彩りを添え、インテリアにさらなる個性をプラスしている。

オーナーと建築家が共通の美的感覚をもちながら互いのイメージを共有することで、建築とインテリア、家具が見事に調和したC邸。さらに二人は、「建築は四次元。年齢を重ねたら3階の寝室を2階に移すなど、家は時間の経過と共に変化が必要がある」と話す。今後も家族の姿と共に生きて、より良い住まいづく



室内外に一体感をもたらすため、テラスとリビングの床レベルを合わせ、同じセラミックタイルを使用。大開口の前にはMinottiのラウンジチェアを置き、家族やゲストのくつろぎのスペースに



1F PLAN 1 : 150

1. キャビネット / USMハラー
2. センターテーブル[Area] / Paolo Piva / B&B Italia
3. ラウンジチェア&オットマン「イームズラウンジチェア&オットマン」 / Charles and Ray Eames / Herman Miller
4. ソファ「Charles」 / Antonio Citterio / B&B Italia
5. サイドテーブル「Awa」 / 深澤直人 / B&B Italia
6. ラウンジチェア / Minotti
7. サイドテーブル / Minotti
8. キャビネット「BRAMANTE」 / 高濱和秀 / Cassina
9. オットマン「2 FAUTEUIL GRAND CONFORT, PETIT MODELE, OTTOMANE」 / Le Corbusier, Pierre Jeanneret, Charlotte Perriand
10. イス「246 PASSION PRO」 / Philippe Starck / Cassina
11. イス「245 CAPRICE」 / Philippe Starck / Cassina
12. イス「412 CAB」 / Mario Bellini / Cassina
13. 特注テーブル
14. デスク / Cassina
15. イス「イームズアルミナムグループ マネジメントチェア」 / Charles & Ray Eames / Herman Miller
16. キャビネット / USMハラー
17. キャビネット / USMハラー
18. シェーズロング「241 PRIVE」 / Philippe Starck / Cassina
19. キャビネット / USMハラー
20. ベンチ「Nelson Platform Bench」 / George Nelson / Herman Miller
21. コンソール / 香港
22. ハイスツール / Cassina
23. アウトドアソファ「BREEZE XL ARM CHAIR ALUMINUM ASTEROID」 / Harbour
24. アウトドアソファ「BREEZE XL 2 SEAT SOFA ALUMINUM ASTEROID」 / Harbour
25. オットマン「PACIFIC OTTOMAN ALUMINUM ASTEROID」 / Harbour
26. アウトドアチェア「Vegetal Chair」 / Ronan & Erwan Bouroullec / Vitra
27. アウトドアテーブル / Vitra
28. ベッド / Cassina
29. ナイトテーブル / Cassina
30. ベンチ / Cassina
31. ラウンジチェア「Edouard」 / Antonio Citterio / B&B Italia
32. キャビネット「CENTIMETRO ISLAND」 / LEMA



下右/テラスにつながるリビングの一角には、USMハラーのキャビネットを配置。その上に飾った中国の作家によるアートが、空間のアクセントになっている。リビングの壁と同じ素材を屋外の壁に用いることで、室内外のつながりを演出した。下左/「暖炉を住まいに取り入れることも、自分にとって大切な美意識の一つ」と話すオーナー。暖炉の前の、アメリカ・Herman Millerのラウンジチェアが気に入りの場所だ

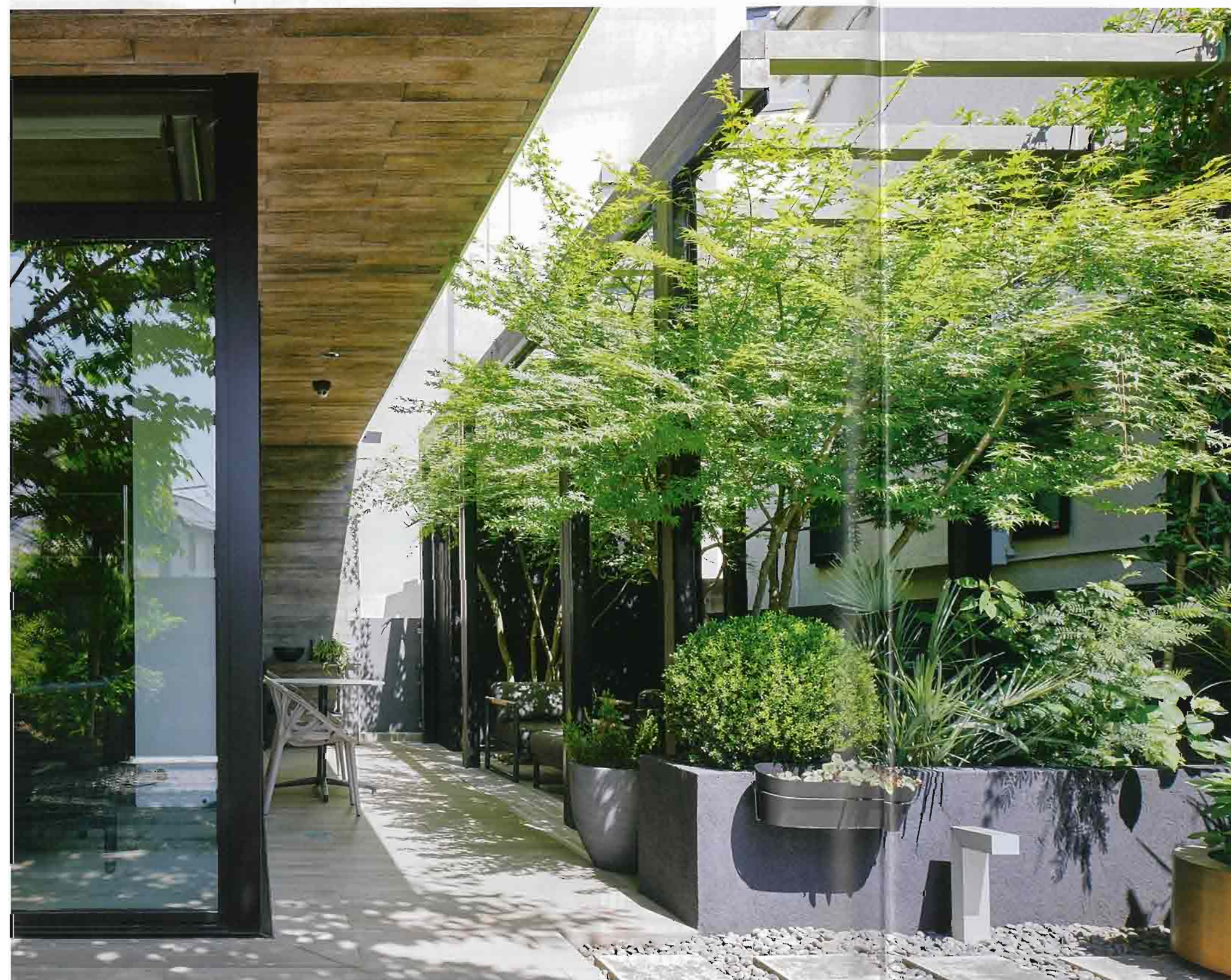
リビングの主役はイタリア・B&B Italiaの家具。ソファはAntonio Citterioがデザインした「Charles」でPaolo Pivaが手掛けたセンターテーブルをコーディネートした。奥に見える、天井高まである引き戸の先がエントランスホール



上/カウンターをCUCINAに依頼したキッチン(CH2650mm)、
壁面やカウンター天板の白の大理石が、ラグジュアリーな雰囲気
を醸す。Cassinaのハイスツールをセレクトして軽食がとれる
場をデザインした
下/キッチンから北側の庭を見通す。バーベキュースペースと
した軒下と直線につながり、スムーズな動線を確保できる



キッチンからエントランスホール越しにダイニングを見る。キッチン
の壁と床には、リビングダイニングと同素材を使用。左手の階段室
から光が降り注ぎ、光を絞ったダイニングとのコントラストが美しい



リビングとフラットにつながる。その間にイス・Vitraのテーブルとイスを配置。天候や食べるさまざまな居場所を用意している



リビングの北側は、3年前に増設したテラス。既存のモミジを生かして緑に満ちた空間を生んだ。アームチェアやソファは、オーストラリア・Harbourの「BREEZE XL」シリーズ

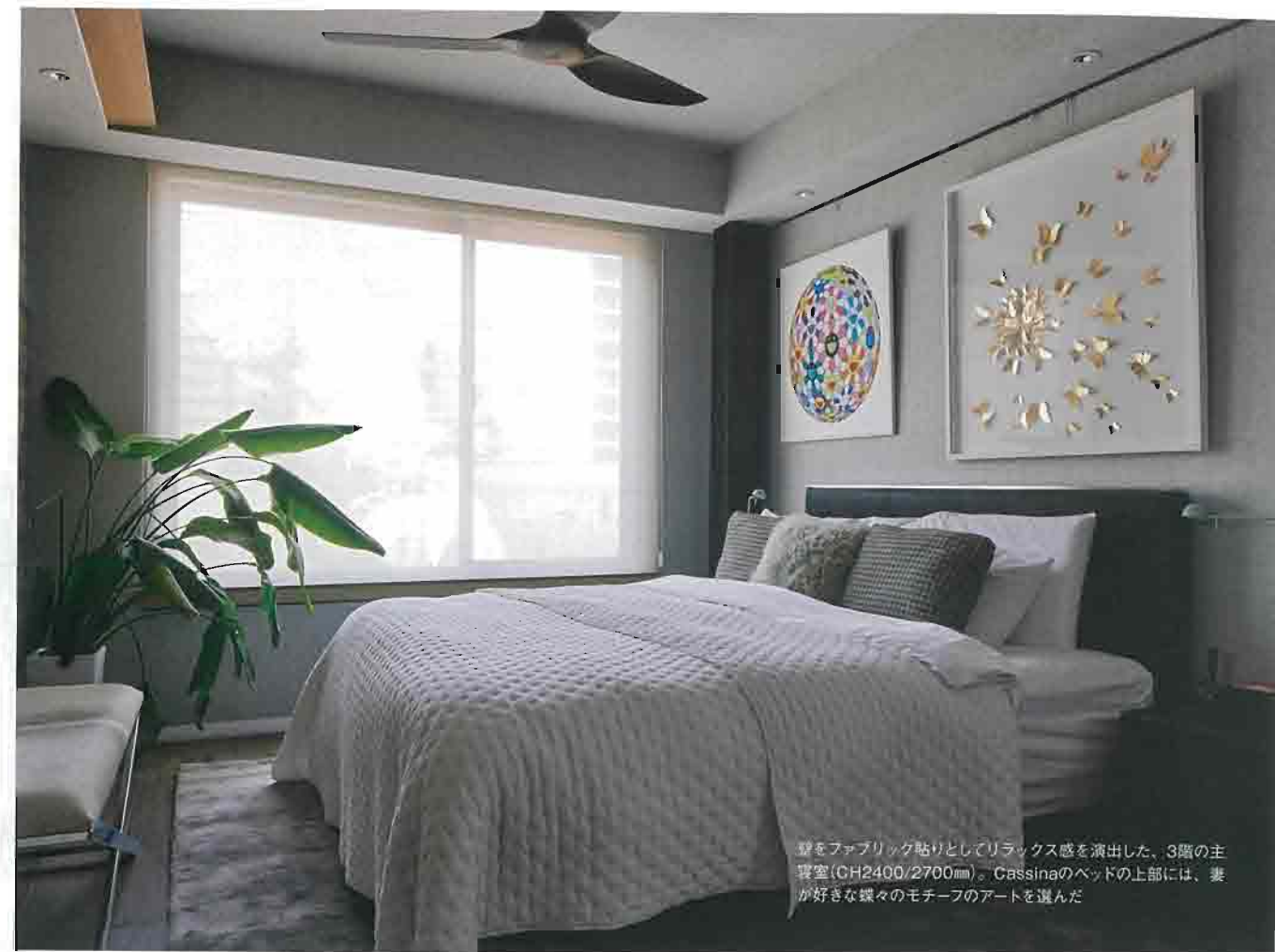


タモ無垢材の踏み板、鋼材とガラスの手すりを用いて軽やかさと硬質さを共存させた階段。隣家が立つ南側を全面スモークガラスとしてプライバシーを確保しつつ光を導いている

ent with Furniture
ce

iC造 地上3階建て
192㎡
23㎡
20.43㎡ 2階120.43㎡ 3階51.85㎡ 合計292.71㎡
妻

家具・機器の仕様リストは202頁に掲載



壁をファブリック貼りとしてリラックス感を演出した、3階の主寝室(CH2400/2700mm)。Cassinaのベッドの上部には、妻が好きな蝶々のモチーフのアートを選んだ



主寝室の西側には、洗面とトイレ、シャワースペース、バスタブを配したバスルーム(CH2400mm)。左手開口の共有バルコニーとつながる開放的な空間で、洗面ボウルも二つ並べたカウンターの天板は、キッチンと同じ大理石を使用した